

平成 30 年 11 月 4 日

平成 30 年度 海洋・港湾構造物維持管理士資格認定試験

## 記述式問題 問題用紙

(試験時間 3 時間)

### 注意事項

1. 監督員の「始め」の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は、大問として、問題Ⅰ、問題Ⅱの 2 問があります。問題Ⅱについては、(1)～(3)のうち 2 問を選択して解答してください。また、選択した問題の番号を解答用紙に記入してください。
3. 解答は、問題ごとに所定の解答欄に、横書きで記入して下さい。
4. 問題用紙および解答用紙には、受験番号と氏名の記入欄がありますので、それぞれ正しく記入して下さい。
5. 「始め」の合図があったら、直ちに問題用紙と解答用紙のページ数の不足や印刷の不鮮明なところがないことを確かめて下さい。もしあれば、手を挙げて申し出て下さい。
6. 解答には文字数制限がありますので、注意して下さい。不必要な空白は文字数として認めません。
7. 問題用紙の余白等は、適宜利用して差し支えありません。
8. 試験問題の内容についての質問は、一切受け付けません。
9. 解答時間は、「始め」の合図があつてから 3 時間です。試験開始後 60 分までと終了 10 分前以降は途中退席できません。
10. 途中退席を希望する人は、監督員に受験票を提示の上、解答用紙を提出した後、静かに退席して下さい。
11. 「終わり」の合図があったら、直ちに解答の記入をやめ、解答用紙を机の上に裏返しにして置き、監督員の指示に従って下さい。
12. 問題用紙を持ち帰ることはできますが、解答用紙を持ち帰ることはできません。
13. 不正行為があつた場合には、全ての解答が無効となります。
14. その他、監督員の指示に従って下さい。

受験番号				
氏名				

## 問題Ⅰ

次の設問について 800 字以上 1,000 字以内で解答せよ。

海洋・港湾構造物の計画、調査、設計、維持管理等に関する業務経験をひとつ取り上げて、当該業務における維持管理に関する課題、または当該業務の経験に基づいてあなたが考える維持管理に関する課題について説明するとともに、上述の課題を解決していくための方策についてあなたの考えを述べよ。

## 問題Ⅱ

次の設問（１）～（３）の中から２つを選択し、それぞれについて 800 字以内で解答せよ。

（１）消波ブロック被覆堤（ケーソン式防波堤）において消波ブロックが関係する主要な変状連鎖を説明し、それに対する点検診断の内容と留意すべき事項について述べよ。

（２）塩害による劣化が確認された栈橋上部工（鉄筋コンクリート）下面の補修について検討することとなった。検討に必要な調査の内容と補修工法選定の考え方について述べよ。

（３）鋼矢板式係船岸の一般定期点検診断を実施したところ、鋼矢板の防食管理電位が維持されていない箇所があること、鋼矢板の一部に開孔が生じていることが確認された。実施すべき詳細臨時点検診断の内容と想定される補修方法について述べよ。